

## プロジェクトマネジメント研修（基礎編）

～プロジェクト管理の基本を実践的に習得する～

研修の目的	プロジェクト管理のベストプラクティスであるPMBOKを理解するとともに、ポイントの演習を通して実践的にプロジェクト管理を習得できる。
研修の特徴	講義と小グループでの演習方式である。異なる経験の参加者とディスカッションでき、お互いのプロジェクト管理上の悩みを理解でき、そのディスカッションから気づきが得られる。
研修の期間	3日間(6時間/日)
研修カリキュラム	<p>一日目:プロジェクト管理とプロジェクト計画作成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 参加者のプロジェクト管理力調査を実施し、プロジェクト管理とPMBOKを説明する。</li> <li>② プロジェクト管理とリーダーシップに関して、SL(状況)理論で参加者のリーダーシップスタイルを把握する。</li> <li>③ プロジェクト計画のポイントとなるプロジェクト計画書の作成及びリスク管理に関してリスク分析演習を通して理解する。</li> </ol> <p>二日目:プロジェクトの見積と進捗・問題管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① プロジェクト見積をFP(ファンクションポイント)法を利用して行う。</li> <li>② 進捗管理のポイントとEVM(アードバリューマネジメント)法による進捗把握を演習する。</li> <li>③ 問題管理を設定事例で演習しながら理解する。</li> </ol> <p>三日目:品質管理、原価管理、調達管理、その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 品質管理を品質管理技法とともに把握する。</li> <li>② 原価管理のポイントについて習得する。</li> <li>③ 協力会社を利用するに必要な契約とともに把握する。</li> </ol>
研修の対象者	CIO、PMOメンバー 部門管理者、プロジェクト管理者及びリーダー 情報会社の管理者あるいは昇格対象者
研修講師	松浦 薫(まつうら かおる) ITマネジメント・サポート協同組合 副理事長  情報システム開発会社のプロジェクト管理責任者を経験 情報システム会社のプロジェクト管理者研修講師 顧客企業の経営及び情報化を指導